



杭ノ瀬教授は1998年、いち早く低侵襲心臓手術に取り組み始め、以後3D内視鏡下心臓手術や胸骨を切らない大動脈弁置換手術など、心臓手術の新しい可能性に挑み続けている。



「患者さんの救命とQOLの改善」のため日々、専門性の高い医療に取り組む心臓血管外科の精鋭たち。種本教授と一緒に先進のチーム医療を担っている。

多忙ながら毎朝10kmのランニングを欠かさない杭ノ瀬教授。「40歳を機に始めました(現在12年間継続)。吉備路マラソンではフルマラソン3時間10分。ちなみに自己最高は2時間53分10秒です」というサブスリーランナー。「ラン仲間がたくさんできました」とうれしそうに微笑む姿に人柄がにじみ出る。

杭ノ瀬 昌彦 教授
Masahiko Kuinose

■認定医・専門医・指導医
心臓血管外科専門医、日本循環器学会専門医、日本外科学会認定医・指導医・専門医、日本胸部外科学会認定医・指導医、心臓血管外科修練指導者、ICD/CRT治療資格者
■専門分野
弁膜症外科、小切開手術(MICS)、冠動脈外科、大動脈外科



10年後の患者さんをイメージすること

by 川崎医科大学附属病院

医療 >>> vol.34 最前線

心臓血管外科

24時間365日体制で治療にあたる当科。最前線では、外科と内科が協力しあって、治療や手術のクオリティを高める「ハートチーム」のコンセプトを徹底。種本教授のリーダーシップのもと、15年前から実践している。



大学時代はボート部に所属。1979年の関西選手権優勝、インカレでは準決勝2位、ユニバーシアード世界大会へも推薦されたそう。最近では、週1回スポーツジムで汗を流すのが日課。「ベンチプレスは今でも70kgを上げますよ」。会う人を一目で魅了する人懐っこい笑顔が印象的だ。

種本 和雄 教授
Kazuo Tanemoto

■認定医・専門医・指導医
日本外科学会専門医・認定医・指導医、日本胸部外科学会認定医・指導医、日本循環器学会専門医、心臓血管外科専門医、日本体育協会公認スポーツドクター
■専門分野
心臓外科、大動脈瘤



いつも患者さんの身になって考える

by 川崎医科大学附属病院

難易度の高い再手術、高齢者、すべての患者さんを受け入れる。

「当科は長年にわたって心臓・大血管手術、いわゆる心臓弁膜症に対する弁形成術や弁置換術、虚血性心疾患への冠動脈バイパス術、大動脈疾患への人工血管置換術などに全国に先駆けて取り組んできました」と語るのは、心臓血管外科の種本和雄教授。心臓外科治療の第一人者として当院のみならず、日本の外科治療の最前線を走り続けている。大学病院という特性上、他施設からの難易度の高い再手術(弁膜症)の依頼も多く、患者には高齢者も多いため。最高齢は九二歳の方がいらっしやいました。すべての患者さんを受け入れる柔軟な治療体制が当科の強みです。

患者に治療方法や手術の内容をわかりやすく説明するために、タブレット端末をいち早く導入したのも種本教授。「心臓手術ですから当然リスクはあります。だからこそ、スタッフには『患者さんの身になって考えなさい。確実に内容が伝わるよう、使う言葉のひとつひとつを常にチェックすること』と言いつづけています」。

現在、心臓血管外科専門医認定機構の要職である総務幹事も務める種本教授。「この分野で専門医を育てるための研修システムを確立するのが私の使命。そして私が一〇年で体得した技術を三年で若い人に伝えるのが私の存在価値」と言い切る。その言葉は医師としての確かなプライドと使命感にあふれている。

患者への負担が少ない
低侵襲心臓手術にいち早く取り組む。

今年八月に着任した杭ノ瀬昌彦教授は、当科の先端医療を担うもうひとりとのキーマン。長年にわたって低侵襲心臓手術、3D内視鏡下手術などに取り組み、こちらも心臓外科治療の先駆者だ。かつて種本教授の薫陶を受け、プライベートでも信頼の厚い二人。互いに「なくてはならない存在」と認めあう。「私が初めて低侵襲心臓手術を行なったのが一九九八年。その後もこの手術法は注目されましたが、施術側の負担が多いなどの理由で一時は下火になったこともあり、その後の3D内視鏡下手術や新しい左心室形成術、胸骨を切らない大動脈弁置換術につながりました」と語る杭ノ瀬教授。こうした新しい手術の普及により仕事を持つ現役世代の患者さんや女性のQOL(生活の質)の維持・向上を実現している。

「心臓外科治療で重要なのは、構成員です。一〇年後の患者さんの姿を常にイメージしながら、何がその患者さんにとってベストなのかを考えると大切」と杭ノ瀬教授。物静かな笑顔のなかに医師としてのゆるぎない向上心が垣間見えた。

お問合せ

川崎医科大学 附属病院
086-462-1111
<http://www.kawasaki-u.ac.jp/hospital/>